MINATO HOLDINGS INC. BUSINESS REPORT

MINATO TIMES 69

MINATO
ミナトホールディングス株式会社

第69期 年次報告書 2024年4月1日▶2025年3月31日　証券コード 6862

TOP MESSAGE / June,2025

M&Aとデジタルコンソーシアム構想で持続的な成長を実現

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに、2025年3月期（2024年4月1日～2025年3月31日）における当社の業績についてご報告をさせていただくにあたり、ご挨拶申し上げます。

当社はデジタル分野において他企業との連携やM&Aを進めてコンソーシアム（共同体）を形成・拡大し、シナジーを創出することで企業価値を高めていく「デジタルコンソーシアム構想」を成長戦略として位置付け、「デジタルコンソーシアムで未来の社会を創造する」というビジョンを掲げ、事業を推進しております。

2025年3月期は増収減益の決算となりましたが、将来の成長に向けた取り組みを着実に進めました。2024年11月には、ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ株式会社の新社屋が竣工し、ROM書込み能力を大幅に増強いたしました。また、2025年5月には株式会社ブレーンおよびダイキサウンド株式会社の2社を新たに当社グループに迎え入れ、デジタルコンソーシアムの拡大と事業基盤の拡充を図っております。

当社はこれまでも、中長期的な視点に立ち、M&Aおよび既存事業の着実な拡大を通じて、持続的な売上および利益の成長を目指してまいりました。過去5年、10年のスパンで見れば、当社は着実かつ力強い成長を遂げております。

今後も現状に甘んじることなく、新たな価値の創出と挑戦を続け、さらなる成長を目指してまいります。引き続き、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

業績の概況

2025年3月期の連結業績につきましては、ROM書込みサービス事業において書込み数量が減少しましたが、大型スポット案件を含むデジタルデバイス及びICTプロダクツのデジタル関連機器事業が好調であったことから、売上高は24,540百万円（前年同期比29.0%増）となりました。利益につきましては、前期までに実施した設備投資による減価償却費の増加もあり、営業利益は767百万円（同37.9%減）、経常利益は582百万円（同52.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は373百万円（同74.8%減）となりました。

代表取締役会長
兼グループCEO
若山 健彦

代表取締役社長
兼COO
相澤 均

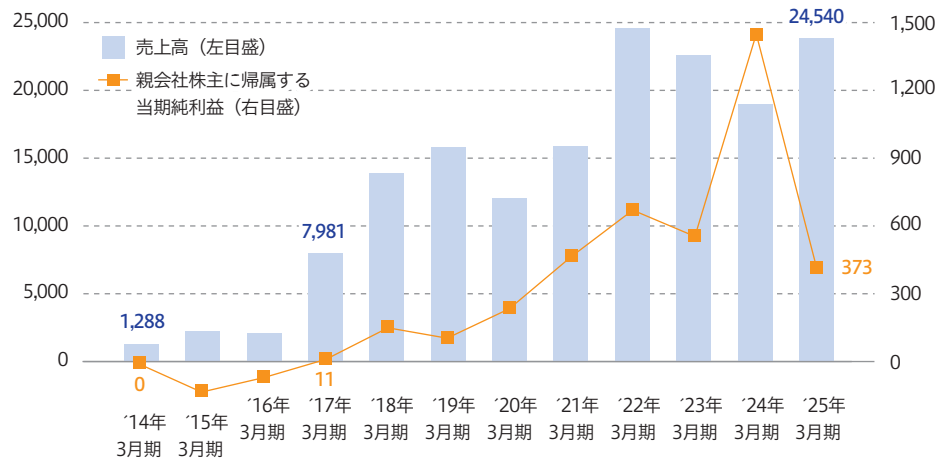
配当金について

当社は、株主のみなさまに対する利益還元を経営の重要課題の一つとして位置付けており、将来の成長のための投資や事業展開の状況、経営成績等を踏まえ、適切な利益還元策を実施する必要があると考えております。第69期の期末配当金につきましては、これらの方針を踏まえ、「中期経営計画2027」で定めた配当と自己株式取得を強化し、総還元性向を30%にするという目標を勘案し、1株あたり14円（前期比同額）とさせていただきます。

MINATO HOLDINGS

業績推移（連結）

（単位：百万円、単位未満切り捨て）



01 POINT 売上高、営業利益ともに 2025年3月期通期業績予想を上回る

通期連結業績につきましては、売上高が2025年2月10日に上方修正いたしました業績予想（23,000百万円）に対し、107%となる24,540百万円となりました。営業利益につきましては、期初に公表した予想（735百万円）に対し、104%となる767百万円となり、売上高・営業利益ともに業績予想を上回る結果となりました。

02 POINT 第2四半期以降の四半期売上高が大きく伸長

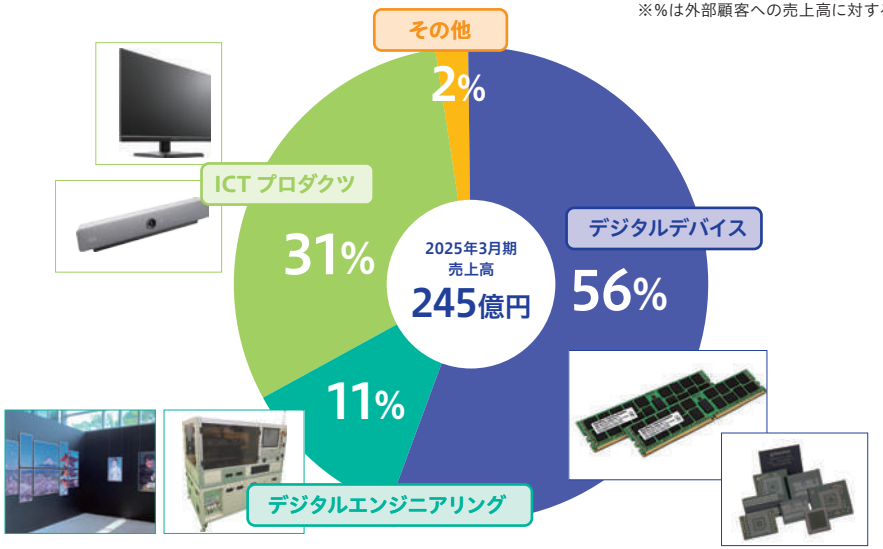
パソコン・サーバー需要の回復が顕在化しない状況が続くなか、デジタルデバイスのセグメントにおいて、大型スポット案件の受注やグループ各社の営業努力により、第2四半期以降の四半期売上高が大きく伸長しました。

03 POINT 2025年5月に新たにグループ会社となった2社の業績寄与もあり、2026年3月期連結業績は前期比増益予想

アメリカの関税措置による外部環境の悪化により、企業収益への影響が懸念されるものの、ROM書込みサービス事業の回復に加え、スタジオ・メディアプランニング・ライブエンターテインメント事業を展開する株式会社ブレーンと音楽イベントの企画・デジタルプロモーション事業を展開するダイキサウンド株式会社のグループ会社化により、2026年3月期連結業績は前期比増益を予想しています。

事業領域とセグメント別営業成績 2025年3月期

※%は外部顧客への売上高に対する比率



デジタルデバイス

売上高 13,960百万円

パーソナル機器から社会インフラ機器まで、幅広い分野で使用される組み込み用途向け製品を提供。スピード・高品質・コストの3要素を高いレベルで実現し、ニーズに合った提案を行っています。

- サンマックス・テクノロジーズ株式会社
- 港御（香港）有限公司

デジタルエンジニアリング

売上高 2,802百万円

ROM書込みサービスの提供や、デバイスプログラマの設計販売、タッチパネル・デジタルサイネージの販売などを実施。また、ソフトウェア及びハードウェアの受託設計、ODM／EMSサービス提供を行っています。

- ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ株式会社
- 株式会社エクスプローラ
- 港御（上海）信息技術有限公司

ICT プロダクツ

売上高 7,585百万円

液晶モニターやeスポーツ関連製品のほか、PC・スマートフォン・タブレット端末などの周辺機器を販売。また、ビジネスの多様なニーズに応えるテレワークソリューションを提供しています。

- 株式会社プリンストン

その他

売上高 546百万円

Webサイト構築やシステム開発事業、グラフィックデザイン・動画の制作やWebプロモーション対応などについて、伴走支援を実施。また、ベンチャー投資事業をはじめとした幅広い事業を行っています。

- 日本ジョイントソリューションズ株式会社
- 株式会社リバース
- ミナト・フィナンシャル・パートナーズ株式会社

ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ

本　社
新社屋 Tour!

ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ株式会社は本社社屋を建て替え、2024年11月に竣工しました。今回はROM書込みサービスのさらなる拡大に対応する新社屋のポイントを、私たち社員からご紹介します！

DS部 製造1課長 博田 貴之

DS部 生産管理1課主任 鎌田 とも子

そもそも……ROM書込みとは？

大事なデータを守る、大容量記憶媒体への書込み

ROM（ロム）とは、PCやスマートフォンはもちろん、テレビ、冷蔵庫、洗濯機などの家電からATM、POSレジ、医療機器、そして自動車に搭載された制御システムまで、幅広い製品に組み込まれているデータ読み出し専用の記憶装置です。これらの製品は、ROMから必要なデータを読み出すことにより設定通りに動きます。ミナト・アドバンスト・テクノロジーズは、製品を動かすためのデータをROMに書込む作業（ROM書込みサービス）を、国内トップレベルの設備環境の中で、自社開発の書込み装置（デバイスプログラマ）を搭載したオートハンドラを稼働させて、日々、行っています。

News 01

ROM書込み能力 従来の約3.6倍

新社屋では新型自動プログラミングシステム（オートハンドラ）を新たに導入したことで、ROM書込み能力が従来の約3.6倍の能力に増強されました。最大96個の記憶装置（ROM）に同時にプログラムを書込むことができ、さまざまなメーカーのROMに対応しています。また、2台の高画質CCDカメラを使用した画像処理によりトレイの位置を感知するほか、従来よりも多くのトレイを積み込むことで、長時間の無人運転を実現しました。

News 02

約5倍に増床

新社屋は、地上2階建で、延床面積は2,912㎡と、旧社屋から約5倍に増床。全体の約36%は、今後の事業の拡大状況に応じて設備の追加導入が可能なスペースとして確保しています。需要拡大に伴うROM書込み能力のさらなる増強を図ることが可能です。

News 04

周辺環境への配慮

工場内の機械から発生する騒音レベルは、法律に基づいて基準が定められています。新社屋では高品質な防音パネルを採用し、コンプレッサーからの騒音を遮断することで、社員の働く環境や周辺環境にも配慮した施設となっています。

News 03

環境共創イニシアチブ 利子補給金の交付先に決定

ROM書込みサービス事業の設備投資のための借入が、一般社団法人 環境共創イニシアチブの「省エネルギー設備投資利子補給金」の交付先として決定。環境に配慮した設備の導入が評価されました。さらに、これらの設備投資は神奈川県の企業誘致施策である「セレクト神奈川NEXT」にも選ばれています。

環境に配慮した事業運営とともに、企業成長をさらに促進します。

News 05

省エネルギー化

空調設備や受電設備内の変圧器に省エネルギータイプを設置。さらに、従来の装置に比べて稼働時の消費電力を削減できる新型オートハンドラを採用し、省エネルギー化への取り組みを積極的に推進しています。今後、屋上には太陽光発電設備を設置する予定で、発電した電力を建物内で使用するなど、環境に配慮した事業運営を進めていきます。

持続可能な
事業運営を目指し
日々進化していきます！

MINATO HOLDINGS GROUP CROSSTALK

株式会社エクスプローラ × サンマックス・テクノロジーズ株式会社

受託設計サービスを手がける株式会社エクスプローラと半導体メモリを取り扱うサンマックス・テクノロジーズ株式会社。両社がミナトホールディングスのグループに加わったことで、どのような変化やシナジーが生まれたのか、それぞれの社長にお話を伺いました。

M&Aにより新たな価値を創造し強みを掛け合わせて事業を推進

矢吹 エクスプローラは画像系開発に強みをもち、さらにさまざまな技術を最新の半導体へ実装することを得意としています。特に産業機器などに広く使われるFPGAという半導体に関しては、多くの開発実績を積み重ねてきました。当社は医療、産業機器、通信、放送、車載などの幅広い分野での開発実績を有しています。

斎藤 2016年4月にミナトグループに加わった我々サンマックス・テクノロジーズでは、DRAMやNANDといった半導体メモリを取り扱っています。いち早くお客様の情報をキャッチし、スピーディな営業活動を行うことを得意としています。当社とエクスプローラは同じ業界に属し、アプローチしていたお客様も重なっていたため、エクスプローラのミナトグループ入りは当社にとっても大きなメリットでした。今後はメモリだけでなく、エクスプローラの受託開発技術もあわせて、当社からお客様へご提案できると考えており、さらなるシナジーを期待しています。

矢吹 当社がミナトグループに加わったのは、2021年12月です。M&Aによって他社グループに加わると、組織がバラバラになってしまうのではないかと心配する声も聞かれます。しかし当社は、ミナトホールディングスとのM&Aに関する協議を重ねる中で、我々の事業をさらに拡大できるかを一緒に考え、全面的に支援いただけるのは同社だと確信しました。他にも複数社からM&Aのお話をお聞きしましたが、エクスプローラの特徴を生かし、より良い方向に進めるのは、やはりミナトグループが最適だと判断しましたし、その判断は今も正しかったと確信しています。私も斎藤社長と同様に、サンマックス・テクノロジーズとエクスプローラとのビジネスの相乗効果は高く、市場の動向や、顧客の情報をシェアすることで、エクスプローラとしても、ビジネス拡大の可能性が高いと考えています。

斎藤 実際に、エクスプローラが仲間入りしたことで、それまでサンマックス・テクノロジーズがコンタクトできなかったお客様や、従来のお取引先の社内で異なる部署（開発担当など）とも接点を持てるようになりました。その結果、現在では製品の仕様設計といった開発初期段階から、量産製造まで一貫してサポートすることが可能です。プロジェクトに合わせて協働することで、より早い段階からどういった半導体を検討しているのかという情報を得ることができます。エクスプローラが加わったことは、当社としても大きなメリットです。

半導体のプロフェッショナル集団としてあらゆる業種のお客様に訴求

矢吹 サンマックス・テクノロジーズは、以前から大手MFP（多機能デジタル複合機）メーカーに対して半導体製品を供給しています。最近では、そのようなお客様から受託開発のお話をいただくようになり、確実に顧客拡大につながっています。また、エクスプローラが取り扱っている医療分野の開発などではメモリが不可欠です。サンマックス・テクノロジーズからメモリの情報を提供していただく形で協力体制を築き、グループ全体としてビジネスを拡大しています。今後は、お客様も含めてミナトグループ全体でプロジェクトを進めるケースも出てくるでしょう。

斎藤 半導体メモリは、市場の状況や需要によって変動する商品です。その都度情報をアップデートし、常にベストな品種を提供しなければなりません。ミナトグループ全体で取り組むことで半導体メモリの提供にとどまらない提案がお客様にできればと考えています。例えば、製品開発段階ではエクスプローラがお客様にコンタクトし、メモリの提案はサンマックス・テクノロジーズと協力することが可能です。さらに、メモリにデータの書込みをするROM書込みサービスとなれば、

グループ会社のミナト・アドバンスト・テクノロジーズが提案できます。ミナトグループ全体で、お客様に満足いただける製品やソリューションを提案できればと考えています。

矢吹 昨今、生成AIの活用事例が増えているなかで、メモリはなくてはならない存在です。サンマックス・テクノロジーズの最新メモリを我々が提案し、開発に組み込むことで、メモリの価値をさらに高めることができます。さらに、サンマックス・テクノロジーズのメモリに関する「スピード」「高品質」「コスト」を統合した提案を設計に生かせば、両社にとって付加価値が創出されます。

デジタルコンソーシアム構想実現に向け協力体制を強化しシナジーを高める

斎藤 メモリというのは、チップにデータを書込むROM書込み作業が発生することが多く、その際、お客様自身で書込む場合もありますが、お客様が国内外の企業に依頼するケースも多くあります。ここはミナト・アドバンスト・テクノロジーズの得意とする領域ですので、ROM書込みサービスも含めて、ミナトグループでお引き受けすることも考えて、情報を密に共有していきます。

矢吹 我々は製品開発の受託設計がメインですが、将来的には製品製造まで事業を拡大させることを目指しています。収益拡大には、最新で付加価値の高い半導体製品を組み入れることが鍵となります。さらに、サンマックス・テクノロジーズの物流システムを活用し、グループ全体で開発から製造まで一気通貫で対応できるのではないかと考えています。また、ビジネス拡大においては企業としての規模感も重要であり、上場企業であるミナトホールディングスのグループ企業となることで、お客様にも安心していただけると思います。

斎藤 ミナトホールディングスで掲げている「デジタルコンソーシアム構想」から考えていくと、社会に貢献できるビジネスもさらに行っていきたいですよね。

矢吹 その通りです。やはり、ビジネスにおいて重要なことは、世の中のためになるかどうかだと考えています。例えば、国内では少子高齢化が進み、医療費が拡大しています。そのため、精度の高い検査装置の開発を進め、病気の早期発見、早期治療ができれば、医療費の削減も可能だと思います。今後はM&Aによる高いシナジーを発揮し、社会課題にも貢献できる成果を上げていきたいと思います。

斎藤 矢吹社長は普段、北海道の函館にあるエクスプローラの本社を拠点とされていますが、地方にいるからこそ感じる課題もあるんじゃないですか?

矢吹 高齢者の自動車免許証返納後の移動手段については、考えることが多いです。特に地方においては、車に乗れないとなると買い物や病院に行けないといった方もいらっしゃるのではないでしょうか。自動運転が可能な車の開発に対して、当社としてどう取り組んでいくのか、私は重要視しています。

斎藤 デジタルコンソーシアム構想が進化していくことで、世の中に貢献しながら自社が成長していくといいですよね。今後も協力し合って、当社グループの価値を高めていきましょう。

国内グループ会社10社 Group history

2016
サンマックス・テクノロジーズ株式会社
グループ会社化

ミナト・フィナンシャル・パートナーズ設立

2017
日本ジョイントソリューションズ株式会社
グループ会社化

2018
当社を持株会社体制に移行し、
ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ営業開始

2020
株式会社プリンストン
グループ会社化

2021
株式会社エクスプローラ
グループ会社化

2023
株式会社リバース
グループ会社化

2024
DediProg Japan設立

2025
株式会社ブレーン
ダイキサウンド株式会社
グループ会社化

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 （中間配当実施時の株主確定日 9月30日）
公告方法	電子公告により行います。 ただし、やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載する方法により行います。
公告掲載URL	https://www.minato.co.jp
上場証券取引所	東京証券取引所　スタンダード市場
株主名簿管理人／ 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711（フリーダイヤル）
郵送物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
株式に関する手続	①証券会社に口座をお持ちの場合 お取引の証券会社にお申し出ください。 ②特別口座をお持ちの場合 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、 特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。

会社概要

社名	ミナトホールディングス株式会社
本社所在地	〒105-0004 東京都港区新橋4丁目21番3号 新橋東急ビル 6階
設立	1956年12月17日
資本金	1,086,720千円（2025年3月現在）
事業内容	グループ会社の経営管理
従業員数	約400名（連結）

連結子会社

サンマックス・テクノロジーズ株式会社
ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ株式会社
株式会社プリンストン
株式会社エクスプローラ
日本ジョイントソリューションズ株式会社
株式会社リバース
ミナト・フィナンシャル・パートナーズ株式会社
株式会社ブレーン
ダイキサウンド株式会社
港御（上海）信息技術有限公司
港御（香港）有限公司

株式の状況

2025年3月31日現在

発行可能株式総数	28,800,000 株
発行済株式の総数	7,925,714 株
株主数	5,971 名

大株主

株主名	持株数（株）	持株比率（%）
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	442,800	5.98
若山 健彦（当社代表取締役会長兼グループCEO）	434,065	5.86
個人	245,200	3.31
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN (CASHPB)	230,300	3.11
個人	200,000	2.70
上田八木短資株式会社	190,000	2.56
相澤 均（当社代表取締役社長兼COO）	161,100	2.17
宇佐見 紀之（当社執行役員）	157,300	2.12
個人	143,200	1.93
個人	133,000	1.79

当社は、自己株式516,176株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

役員の状況

代表取締役会長兼グループCEO	若山 健彦	**取締役**	杉山 敏美	**取締役 常勤監査等委員**	門井 豊
代表取締役社長兼COO	相澤 均	**取締役**	矢吹 尚秀	**取締役 監査等委員（社外）**	川和 まり
常務取締役CFO	三宅 哲史	**取締役（社外）**	児玉 純一	**取締役 監査等委員（社外）**	金澤 恭子

IR情報をメールで確認！

最新の適時開示等、当社IRに関する情報について、ご登録のメールアドレスにお知らせいたします。

ご登録はこちらから

MINATO
ミナトホールディングス株式会社

TEL：03-5733-1710
IRサイト：https://www.minato.co.jp/ir/

本事業報告書は、地球環境への負担を低減させるために、FSC®認証紙と、UVエコインキを使用しています。

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

本事業報告書中の商品名は、一般的に各社の商標または登録商標です。
なお、本文内ではTMマークや®マークは明記しておりません。